

次世代に 笑顔

食育講座
参加者数累計

約 7,350人

子どもたちの笑顔のために、
健やかな成長をサポート

食を通じて子どもたちの心と体の健やかな成長を
サポートし、子どもたちの明るい笑顔を守ります。



出張授業や工場見学を通じた食育活動の実施

全国各地で出張授業や工場見学を通じて身近な食品についての知識と食文化を伝えるための活動や、東洋水産グループの事業を地域の皆さまに知っていただくための活動を行っています。

冷蔵倉庫見学会の実施

2015年度より行っている川崎市にある東扇島第一冷蔵庫での夏休みの親子冷蔵倉庫見学会をはじめ、湘南東洋(株)、スルガ東洋(株)、福岡アイランドシティ物流センターといった全国にある東洋水産グループの一部の大型冷蔵倉庫では見学会を開催しています。見学会では、子どもたちの科学的、社会的関心が高まるよう、倉庫内での実験や冷蔵倉庫の役割の紹介などを行っています。



2017年度より実施している
福岡アイランドシティ物流センターでの見学会

参加者の驚きと笑顔が印象的でした

福岡アイランドシティ物流センターでの春休み親子冷蔵倉庫見学会にスタッフの一員として参加しました。参加者に楽しんでいただけたのか不安でしたが「すごい」「また来たい」などの声を頂戴することができました。今回の見学会を通して東洋水産グループの冷蔵事業を少しでも知っていただけたと思います。



九州事業部 福岡冷蔵部
左より 山下 誠・太田 幸一



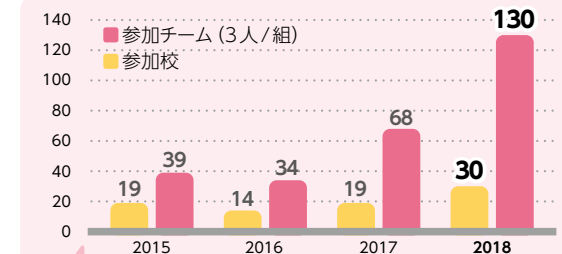
フリーズドライスープをテーマにした食育活動

2015年度から青森県八戸市の小学校高学年を対象にフリーズドライスープをテーマにした出張講座を実施しています。2018年度は6校で計515人が参加しました。講座では、映像を使ったフリーズドライたまごスープができるまでのヴァーチャル工場見学を行った後、オリジナルスープをつくってもらい、工場でフリーズドライ化して本人へ渡しています。また、東北地区の高校生を対象に、地域の特色を生かしたスープメニューの商品アイデアコンテスト「スマイル“フード”プロジェクトin東北」も実施しています。



2018年度「スマイル“フード”プロジェクトin東北」決勝大会

「スマイル“フード”プロジェクトin東北」参加数の推移



2015年度より開始し、2018年度で4回目

商品化した優勝作品



小学校でのみそづくり体験出張授業

みそづくり体験出張授業

(株)シマヤでは、社員が「みそ博士」となって、小学校、中学校、保育所、総合支援学校などに出向き、蒸した大豆をすりつぶすところから、桶に入れて仕込むところまで、一緒に行き、その後熟成したみそを学校に届ける体験型の出張授業を行っています。みそに親しみ、みそ文化の次代への継承と子どもたちの食育を目的として、2011年度の開始からの8年間で、のべ13,000人以上の子どもたちが参加しています。2018年度は69回、2,457人が参加しました。

「だしの秘密」講座の実施

日本の伝統的な食文化である、だしについて、試飲を交えながら紹介する「だしの秘密」と題した食育講座を全国で行っています。関西地域ではじめてとなる奈良県の橿原市立こども科学館「サイエンスフェスティバル」での実施では、50人の子どもが参加しました。



「こどもラーメン道場」の実施

北海道事業部では、札幌市生涯学習センター「ちえりあ」との共同開催による小中学生とその保護者を対象にした「こどもラーメン道場～マルちゃんで手打ちめんちチャレンジ～」を実施しています。4回目となる2018年度は9組20人の親子が参加しました。

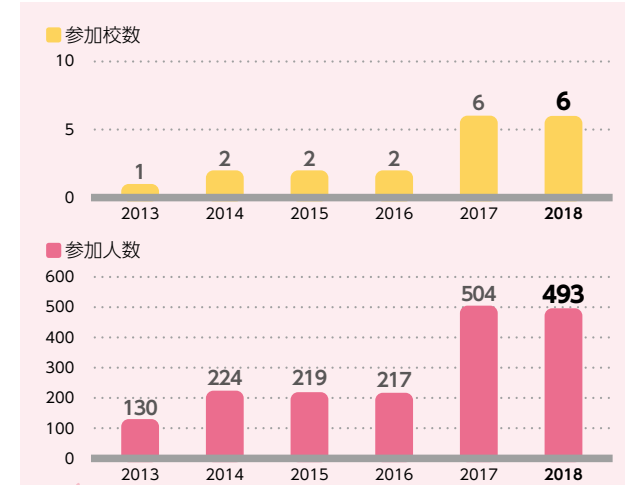


出張授業と工場見学学習会

相模工場では、地域に根付いた企業として、所在地である伊勢原市周辺の小学校を対象に「マルちゃん焼そば 3人前」をテーマとした出張授業と工場見学学習会を実施しています。2018年度は、工場見学会に4校308人、出張授業に2校185人が参加しました。



▶「出張授業と工場見学学習会」参加数の推移（相模工場）



2013年度より開始し、2018年度で6回目

生徒の企業訪問の受け入れ

キャリア教育の一環として修学旅行や課外活動で本社ビルを訪れる生徒を受け入れています。来社した生徒には、試食を交え、会社の歴史や事業の紹介と、だしの地域性についての食育プログラムやオリジナルカップ麺づくりなどを行っています。



子どもへのスポーツ支援活動

東洋水産グループは、全日本柔道連盟のオフィシャルサプライヤーとして、日本柔道界の発展の支援を行っています。本社ビルには武道場があり、東洋水産の柔道部や剣道部に所属する社員が、毎年夏休みに近隣の子どもたちを対象とした柔道・剣道教室を開催しています。また、2010年よりメキシコでも少年柔道大会を主催・協賛するなど、様々なスポーツ支援活動を通じた健全な心身の育成への支援を行っています。

少年柔道大会の主催・協賛

1986年から、小中学生を対象にマルちゃん杯少年柔道大会を開催しています。全国7地区で開催されている大会には、年間でおおよそ1,500チーム、10,000人の子どもたちが参加しています。これまでの大会の参加選手の中からは、国際大会などで活躍する選手が何人も誕生しています。また、海外でも子ども柔道大会や剣道大会への協賛を行っています。メキシコで商品の販売を行っているマルちゃん デ メヒコでは、日本文化の普及もかねて少年柔道大会や剣道大会の主催・協賛を行っています。2018年度の大会では柔道大会に46人、剣道大会に100人が参加しました。



マルちゃん杯少年柔道大会



マルちゃん杯 柔道大会 子ども部(メキシコ)